

# 佛母寺だより 第6号

発行・佛母寺 〒299-1601 富津市田倉942-13

住職・松原覚樹

Tel:0439-37-2336 Fax:0439-37-2378

上記につながらない時は Tel:03-3451-1853; Fax:03-3451-6094

Website:www.butsumoji.com

## ご挨拶

今年も余すところあとわずかとなりましたが、檀信徒の皆様には、如何お過ごしでしょうか。今年よりこの『佛母寺だより』正月号ではなく年末号として、お届け致します。『佛母寺だより』は春彼岸号、お盆号、秋彼岸号のあわせて年に4回発行致します。(年末・年始のことは、後述致しますので是非お読み下さい)

さて、ご挨拶が遅れましたが、この度、先住・父松原哲明和尚のあと、総役員会の推挙により佛母寺第四世住職に就任し、十月一日付けで大本山妙心寺より辞令がおりましたことをご連絡致します。非力ではありますが、臨済禅の法灯絶えることなく大切に護り、山田無文老師、安井住職、哲明和尚と続いた佛母寺の法を引き継がせていただきます。これからも鹿野山の美しい自然を誇りとし、きびしくも、親しみやすく、やさしい禅空間を創り上げていきます。皆様のご来山を心よりお待ち申し上げます。

現在はカリフォルニア大学バークレー校で教鞭をとり、日本宗教、日本仏教、前近代・江戸文学(漢文・古文)を教えています。そのため、私自身が留守にすることが多く、佛母寺に帰るのは、年末・年始、春彼岸、お盆、秋彼岸のあわせて約半年になる予定です。私の留守中は兄の龍源寺住職と弟の正福寺住職に実務を手伝っていただいています。どうか、よろしくご理解・ご協力いただきますよう、心からお願い申し上げます。

(松原覚樹・まつばらかくじゅ・1973年生まれ。学習院大学法学部政治学科卒業後、平林寺専門道場を経て、2004年米国コーネル大学院アジア研究科修士修了、2009年同宗教学博士号取得。現在、佛母寺住職兼カリフォルニア大学バークレー校仏教学、宗教学、日本学研究客員教授。)

文末となりましたが、今年の皆様方のご厚情に感謝しつつ、来年も、檀信徒皆様にとって、良いお年でありますよう、心より祈念申し上げます。

松原覚樹合掌

# 佛母寺お月見茶会初開催！

十月二十三日（土）晴天の一日、東京や横浜方面から二十名あまりのお客様をお迎えして、お月見の茶会が開かれました。

お茶室でお薄を一服召し上がっていただいた後、本堂で東京三田龍源寺住職松原信樹和尚のご法話をお聞きいただき、続いて摩耶夫人の前のお庭で野点を楽しんでいただきました。しばらく境内を散策していただいた後、本堂でのお食事は精進料理のお弁当、真紗子先生手作りのわらびの煮物や菊花の酢物にお酒も少し入り、なごやかなでゆったりとした、都会では味わえない時が流れていました。

夕暮れとともに九十九谷の山の端から見事な満月が昇り、お客様は月の光をお供にお帰りになりました。

M.O さん



前日までの雨が止み、うす曇りの中で弱い日差しも感じられる朝です。東京駅から高速バスに乗り込み、私たちは千葉県富津市のマザー牧場に向かいました。その先の佛母寺が目的地です。お茶会の魅力は、煩雑な日常から切り離された特別な時間と空間に身をおくことにもあると思うのですが、今回は目的地に向かう間もとても楽しいものでした。

今日のお月見茶会の会場である佛母寺は、マザー牧場を更に上って桜の木立を通り抜けた先にあり、凜とした佇まいで私たちを迎えてくれました。社中の皆様による広間での抹茶席とお月見団子の用意された野点席はどちらも秋の風情いっぱいの趣向が凝らされていました。点心席は松原先生お手作りのお料理と精進弁当です。本当に美味しくお腹いっぱい頂いてしまいました。その後、今回のお茶会のメイン会場である見晴らし台に移動し、昇ってくる満月を待ちました。雲の切れ目からは徐々に見事な満月が冴え冴えと姿を現し、絵に描いたような眺めでした。とても素晴らしい一日に心から感謝しております。ありがとうございました。

世田谷区在住 佐藤京子さん



# 大晦日佛母寺「除夜の鐘・除夜釜」イベントのお知らせ

Time: 2010年12月31日 午後9時～午前1時

Place: 佛母寺 千葉県富津市田倉942-13 マザー牧場隣接

Contact: Tel: 03-3451-1853; Fax: 03-3451-6094

参加費: 無料 \*ただし、除夜祈願・新年初祈願(要申込)、各種お守り、お札(摩耶観世音菩薩祈願札)を除く

## テーマ

“ビューティフル・マインド”

～鹿野山仏陀の母摩耶(マヤ)の地、佛母寺から発信する～

## 開催概要

千葉マザー牧場に隣接する佛母寺で、12月31日「除夜の鐘・除夜釜」のイベントを行います。今日世界中で、戦争、紛争、飢饉、貧困のニュースが後を絶たず、常に様々な諸課題を抱える世界情勢がメディアを賑わせています。日日は好日を祈り、「心とからだの平穏、無事、癒し」を祈り、「ボーダーレスワールド」、「人類・文化の相互理解と世界平和」を願い、2010年佛母寺除夜の鐘・除夜釜イベントを企画します。作曲家・シンセサイザー奏者 キム・シン氏の演奏会もお楽しみください。キム氏は二十年に一度の伊勢神宮宇治橋渡始式特別奉納(2009)、世の中の一隅を照らすオンリーワンの功績に贈られる東久邇宮文化褒賞を受賞(2010)、平城遷都1300年記念事業(2010)で演奏されました。抹茶席もあります。一人ひとりの“ビューティフル・マインド”を再発見して、新たな年の始まりを鹿野山仏陀の母摩耶の地でどうぞ。

## Schedule

除夜釜 9:00 – 10:15 pm

Music Performance 10:30 – 11:30 pm

除夜の鐘 11:45 pm

\* 除夜祈願(申込: 1人 ¥ 3,000) 9:00 – 10:15 pm; 11:30 – 12:00am

\* 新年初祈願(申込: 1人 ¥ 3,000) 12:00 – 1:00 am

## キム・シン Music Performance

時間: 10:30 – 11:30 pm

場所: 佛母寺書院

趣旨: 「心とからだの平穏、無事、癒し」を祈り、「ボーダーレスワールド」、「人類・文化の相互理解と世界平和」を願う

## 修正会・正月三ヶ日初祈願会のお知らせ

修正会・正月三ヶ日初祈願会は、釈迦の母、摩耶夫人を本尊（摩耶観世音菩薩）に祀る本堂にて行います。新年を新たな気持ちでお迎え頂くために、摩耶観世音菩薩御本尊前での初祈願のご案内です。

家内安全、厄除け、病気平癒、健康祈願、安産祈願、縁結び、交通安全、等々各種ご祈願を受け付けしております。

【時間】 10時、11時、13時、14時、15時、16時

【祈願料金】 1人 ¥ 3,000円

【受付】 元旦午前9時より、佛母寺寺務所にて。

- \* 摩耶観世音菩薩祈願札（小札：5千円、大札：1万円）、各種お守りの販売などは、寺務所にて行っております。ただし、お札に関しましては、数に限りがありますので、ご了承ください。
- \* 本堂内、椅子の数に限りがありますので、ご了承ください。

平成23年 厄歳表（数え歳）						
女性				男性		
昭和 25年 62歳	昭和 53年 34歳	平成 4年 20歳	後厄	昭和 61年 26歳	昭和 44年 43歳	昭和 25年 62歳
昭和 26年 61歳	昭和 54年 33歳	平成 5年 19歳		本厄	昭和 62年 25歳	昭和 45年 42歳
昭和 27年 60歳	昭和 55年 32歳	平成 6年 18歳	前厄	昭和 63年 24歳	昭和 46年 41歳	昭和 27年 60歳

※但し2月3日以前の生まれは前年となる

## 摩耶観世音菩薩祈願札のお申し込み

行く年に感謝し、来る年の無事と発展を祈って新年を新たな気持ちでお迎え頂くために、摩耶観世音菩薩祈願札（小札：5千円、大札：1万円）のお申し込みのご案内です。以下の「祈願内容」をご参照していただき、同封のはがきに必要事項をお書きの上、佛母寺までご返送ください。

お申込みされた摩耶観世音菩薩祈願札の代金は、1月9日（日）までに佛母寺寺務所にてお札と引き換えにお支払いください。郵送する事はいたしておりません。9日までに御来山できない方はご一報ください。9日以降に連絡のとれなくなったお札に関しましては、こちらで対処させていただきます。

上記したように、正月元旦から3日まで、午前10時から午後4時まで『修正会・新年初祈願会』（法要は1時間刻み）を行います。お札とあわせて、この機会にお参りください。

摩耶観世音菩薩祈願札のお申し込みは佛母寺ウェブサイト（次ページ、「お知らせ」参照のこと）からも可能です。どうぞご利用ください。

お札の中央に「南無摩耶観世音菩薩」の名前が入ります。  
お札に関しましては、数に限りがありますので、ご了承ください。

## 祈願内容



厄除祈願	諸々の災難・厄からの免れを願います。
安産祈願	安産を願います。
無事成長	子供の無事安全と健やかな成長を願います。
身体健全	身体の健康・無事安全を願います。
良縁成就	良い縁組・成婚を願います。
勝運祈願	摩耶観音本尊さまの御加護を願います。
商売繁盛	商売の繁栄成功を願います。
社業繁栄	会社事業の繁栄を願います。
必勝祈願	勝負必勝を願います。
受験合格	資格・学校の、試験合格を願います。
学業成就	学業・勉強の、成果・優秀を願います。
旅行安全	旅行の無事安全を願います。
心願成就	心願・大願の成就を願います。

大札45x11cm；小札36x8cm

\* その他各種御祈願受付致します。

\* 一年お世話になった「お札」「お守り」などのお焚き上げをいたします。詳細につきましては、どうぞお気軽にお問い合わせください。大晦日当日、境内浄焚場にて行います。

## お知らせ

◎ 最近特に、業者と提携して寺院に住せず修行をしたかどうかよく分からないアルバイト僧侶なる者が横行しています。派遣僧侶です。佛母寺のお檀家さんまたは佛母寺墓地に埋葬されるお檀家さんには、佛母寺の住職が戒名を授け、佛母寺の住職がお通夜・お葬式・その他一切の法要を責任を持って執り行わなければなりません。もしも、お檀家さんでお葬式を出す場合、葬儀屋さんとは日程を決める前に、必ず佛母寺にご一報お願い致します。出来るだけ調整をして、お通夜・お葬式を勤めさせていただきます。また、日程をすでに決めてしまった場合、できるだけ調整しますが、やむを得ない場合、有縁の臨済宗僧侶を紹介させていただきます。また、千葉県以外でお葬式を出す場合、臨済宗の僧籍をもつ僧侶を紹介させていただきます。葬儀の形態、場所にかかわらず、当寺のお檀家さん・当寺墓地に埋葬されるお檀家さんがお亡くなりになった場合、葬儀屋さんとは日程を決める前に、必ず佛母寺にご一報お願い致します。東京でお通夜・お葬式を出す場合、葬儀屋さんを紹介することもできます。

◎ 佛母寺公式ウェブサイトがオープンしました。仏事法要申込、ご祈願受付、水子供養、ペット供養、墓地、永代供養塔妙峰殿に関する事など、何でもお気軽にご質問・ご相談ください。

Website: [www.butsumoji.com](http://www.butsumoji.com)

まだ多数「準備中」ページがありますが、少しずつ公開アップしていきます。

◎ お電話での寺務所受付は、9:00～16:30までとさせていただきます。16:30以降の電話はすべて龍源寺（03-3451-1853）へ転送されます。

◎ 正月三ヶ日は朝9時から夕方4時まで、お正月のご挨拶をお受けさせていただく予定です（賀儀受け）。例年のとおりです。ご先祖様が眠り、あなたとご縁を頂く佛母寺に、どうぞおいで下さい。皆様のご来寺を心よりお待ち申し上げます。

◎ 来年、年回が当たっておられます方は、ご法事希望の日時が決まりましたら、お電話・ファックス、またはウェブサイトの「お問い合わせ」からメールにてお問い合わせ下さい。

次号『佛母寺だより』は、3月彼岸前に発行する予定です。  
では、良いお年をお迎え下さいませ。

来年のおもな行事	
修正会・新年初祈願	正月3ヶ日
春彼岸会	3月20日(日)
施餓鬼会	8月7日(日)
秋彼岸会	9月19日(敬老の日)
除夜鐘	大晦日

平成21年正当年回表	
1 周忌	平成 22 年
3 回忌	平成 21 年
7 回忌	平成 17 年
13 回忌	平成 11 年
17 回忌	平成 7 年
23 回忌	平成元年
27 回忌	昭和 60 年
33 回忌	昭和 54 年
37 回忌	昭和 50 年
50 遠年忌	昭和 37 年